

美術学部芸術学科

養成人材およびカリキュラム編成の方針

芸術学科は、美学、美術史学の知識と制作体験を持ちあわせることで、多様な分野において、制作者とは異なる様々な立場で芸術に貢献できる人材を育成することを目的とする。

そのために、学部教育では、学生に美学および美術史学に関する基礎的で幅広い知識を身につけさせるとともに、必修として美術作品の制作を体験させる。また芸術学科は大学院に進学して専門的な職業に就くことを目指す学生が多いため、学部教育において、より専門的な研究の基礎となる能力を会得させることを目指している。

求める入学者像

- ・ 芸術の表現や歴史に関心がある者
- ・ 大学において美学や美術史などの芸術に関する理論を学びたい者
- ・ 将来、普及活動や研究を通して芸術と社会を結びつける仕事をしたい者

卒業認定・学位授与の方針

最終年次の「卒業論文」を含めた所定の単位を修得した学生を卒業と認め、学士の学位を授与する。

カリキュラム構成

1年次では、油画の実技、および美学と西洋美術史の基礎を学ぶ芸術学演習が必修とされる。

2年次では、日本画、彫刻の実技が必修とされ、また、これも必修である古美術研究の演習と旅行を通して日本・東洋美術史の基礎を学ぶ。

1年次から3年次までに、美学・美術史学の概説授業により、各分野の基礎を幅広く学ぶ。

1年次から4年次までに、上級までの外国語に関連する講義を履修し、外国語文献を読む力を養うとともに、美学・美術史学の演習や特殊講義を通じて、専門性の高い知識を得る。また、共通科目の履修により、社会の中で活動するための幅広い教養を身につける。

4年次では、論文作成演習において論文指導を受けながら、卒業論文を執筆する。

教育目標

- ①美術の領域における歴史、理論、制作に関する基礎的で幅広い知識と経験を身につける。
- ②美学・美術史の領域における専門的な知識や能力を身につける。
- ③芸術に関する社会的活動を展開するうえで必要な教養・コミュニケーション能力を身につける。
- ④美学・美術史学の領域において理論的分析・解釈を実践する能力を身につける。

年次	科目		ディプロマポリシー	教育目標
1年次	必修科目	芸術学演習	2	①
1～2年次		基礎造形実技		
2年次		古美術研究		

1～3 年次		西洋美術史概説、日本美術史概説、東洋美術史概説、美学概論または美学史概説		
1～4 年次		外国語	4	③
1～4 年次		美学・美術史演習	1	②
1～4 年次		美学・美術史特殊講義		
4 年次		論文作成演習	5	④
4 年次		卒業論文		
1～4 年次	選択科目	共通科目	3	③